

特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

線條被着装置に於ける拭取装置 (10年特許公告第1號、公告10-1-7、東京市、日本電氣株式會社) 線條等に有効にして均一なる金屬の被着を施さんがため餘剰の被着を除去する手段を有する被着装置を併せんとする目的を以て線條に餘剰を生ずる程度に被着を施す手段と線條に加熱せる瓦斯流を附與する手段と前記手段を包圍する瓦斯室と被着材料の過度の冷却及室内に於ける前記材料の集積を防止するために該室を加熱する手段とを有する線條被着拭取装置

遠心力鑄造装置の改良 (10年特許公告第4號、公告10-1-7東京市、戸畑鑄物株式會社) 複雑にして大形なる鑄物をも分子緻密にして均質に而も迅速多量に製造し得せしめんとする目的を以て廻轉中心部に湯口を備へ該湯口の周圍に鑄型を立體的に配置し而して該湯口と各鑄型との間に水平の方向に多數の湯路を設けることを特徴とする遠心力鑄造装置。

瓦斯發熱量指示装置 (10年特許公告第12號、公告10-1-7、川口市、燃料研究所長) 極めて簡單なる方法装置により安全にして且外界の氣流等の影響を受ることなく最も有効確實に瓦斯發熱量を指示せしめ得る瓦斯發熱量指示装置を得んとする目的を以て試料瓦斯を一定量の空氣と混合し此混合物を難酸化性にして且接觸酸化機能を有し可調節電流によりて加熱せらるる金屬線を装置せる電熱装置内に導入し其加熱線上にて表面燃焼を起さしめ之による金屬線の加熱状態の差異と送電量とによりて該瓦斯の發熱量を指示せしめ得べくさせる瓦斯發熱量指示装置。

アルミニウム及びマグネシウム合金の直接電解製造方法 (10年特許公告第18號、公告10-1-7、堺市、鉛市太郎外一名) Al と Mg との合金を電解により直接製造し以て電解能率を増加し且經濟的に操作を良好ならしむる目的を以て電解用熔融鹽として無水鹽化マグネシウム及び鹽化ナトリウムの混合熔融物を使用し Al を陰極として電解し Mg を析出せしめて該陰極金屬との合金とならしむることを特徴とするアルミニウム、マグネシウム合金の製造方法。

反射による噴射鍍金法 (10年特許公告第19號、公告10-1-7、東京市、江澤謙二郎、木澤和) 被覆層緻密にして且つ直射にては達成し得られざる物體内部の縁端並曲成部に完全なる金屬被覆を施さんとする目的を以て噴射鍍金法により金屬被覆層を形成するに當り噴射機の前面の適當なる位置に反射面を置き其反射作用を利用して金屬噴射を行ふことを特徴とする反射による噴射鍍金法。

ニッケル砒鍍及含銅ニッケル砒鍍等のベセマライズによる濃密製鍊法 (10年特許公告第27號、公告10-1-7、東京市、小室靜夫) ニッケル砒鍍の濃密に際して普通に行ふ煩雜にして不經濟なる粉碎、焙燒、熔鍊なる連續工程の反覆操作を避け一舉に高品位の砒鍍(スパイス)或は脱鐵砒鍍(デフェレーテッド、スパイス)を得んとする目的を以て含ニッケル砒鍍を熔融状態に於て珪酸質資料並に曹達化合物を附加し且つ然量補足用の補助燃料を供用しつつ鼓風を送り濃密脱鐵することを特徴とするニッケル砒鍍及びニッケル銅等の砒鍍のベセマライズによる濃密製鍊法。

砒鍍中の銅・ニッケルの分離法 (10年特許公告第28號、公告10-1-7、東京市、小室靜夫) 高純度の銅及び Ni を極めて高能率に而も經濟的に分別採取せんとする目的を以て Cu 、 Ni 砒鍍を硫化アルカリに硫黄又は中性硫酸アルカリと炭類とに硫黄若くは酸性硫

酸アルカリと炭類とを共に加熱熔融して上層をなす銅分多く Ni 分少き硫化アルカリを伴ふ銅鍍と下層をなす Cu 分少く Ni 分多き砒鍍とに分離する工程と上層をなす鍍をベセマライズして硫酸アルカリを分離回収するか風化せしめたる後水にて浸出し硫酸アルカリを回収し残る鍍は更にベセマライズするか焙燒還元法によりて Cu 分多く Ni 分少き陽極を造り下層をなす砒鍍は荒碎し荒燒したる後更に粉碎し炭類を加へて焙燒し更に食鹽、曹達灰、硝石、硫黄等を加へて死燒し弱酸にて浸出し殘物を曹達灰の如き鹽基性熔劑及び炭類を加へ高熱爐により還元し Cu 分少く Ni 分多き陽極を造る工程と前記 Cu 分多く Ni 分少き陽極を用ひて電氣分銅に準して第一次電解を行ひ電氣銅を得電解液中に Ni を溶解蓄積する工程と此溶液を電解液として前記 Cu 分少く Ni 分多き陽極を使用し稍々高き電圧により第二次電解を行ひ Ni を溶解して Cu を沈澱銅の形に於て除く工程と此電解液を滿俺鍍、晒白粉等にて酸化し蒸氣を以て温め粒狀石灰石、粒狀屑ニッケル或は陽極屑中を通過せしめ不純物を除去し遊離酸は炭酸ニッケルにて殆んと中和し緩衝劑及コロイド質を加ふる工程と精製したる液を電解液として更に前記 Cu 分少く Ni 分多き陽極を使用し隔膜を設け新しき電解液は陰極區に注入し其水壓により陽極區の液面より高水準に保ちつつ第三次即ちニッケル電解を行ふ工程との結合より成る砒鍍中の Cu 、 Ni の分離法。

アルミナ製造法 (10年特許公告第32號、公告10-1-7、東京市、三菱鑛業株式會社) 原特許發明(特許第87553號)に比して容易に且經濟的に珪酸又は酸化チタンを多量に含む礬土含有物より純アルミナを製造せんとする目的を以て珪酸及びチタン含有量多き礬土含有物を一層經濟的に處理することを得べからしめたるものなり

高鉛青銅製造方法 (10年特許公告第40號、公告10-1-9、東京市、古河電氣工業株式會社) Pb の分離及偏析を防止し質緻密なる高鉛青銅を容易に得んとする目的を以て鹽化カルシウム炭酸カルシウム硝酸カルシウムをフラックスとして使用することを特徴とする高鉛青銅製造方法。

双子焔管蓄熱式炭爐 (10年特許公告第47號、公告10-1-9、獨逸國、ドクター・シー、オットー、アンド、カムパニー、ゲゼルシャフト・ミット・ベシユレンクテル・ハフツング) 該炭爐に於て蓄熱室と加熱壁の兩半部に在る加熱焔管との間の通路の長短に依り生ずる兩加熱焔管内の壓力の相違に基く爐室内瓦斯品質の悪化及び其の製産高の減少並に加熱壁の破損を防止せんとする目的を以て蓄熱装置の直接上方に在る加熱壁の半部内に在る加熱焔管の上方に向ふ連結路内に蓄熱装置と之に連結せる加熱壁の他半部に於ける加熱焔管との間の比較的長き路に依り生ずる抵抗に相應する抵抗を設けることを特徴とし爐室の長き方向に配置し中間割壁に依り氣體の流れの方向に就きて相交互する半部に分割せる蓄熱装置を有し前記半部の中一半部は一對の双子焔管の一加熱焔管と連結し他半部は他の加熱焔管と連結すべくなれる双子焔管蓄熱式炭爐。

電球用導入線 (10年特許公告第62號、公告10-1-9、東京市山田豊吉) 心金屬と外被金屬との接着合金的にして接着點に完全なる固溶體層を形成せしめ以て層間空隙を有せざる理想的導入線を得んとする目的を以て Fe と Ni 又は Cr との合金より成る心と Cu と Ni 又は Cr との合金より成る外被とを熱熔着の方法によりて合金的に接着せしめ次て線となしたる電球用導入線。

電弧溶接用溶接頭 (10年特許公告第80號、公告10-1-11、

レール・リキード・ソシエテ、アノニム、プール、レチユード、
 エ、レキスプロアタシオン・デ・プロセデ・ジョルジュ・クロード)
 全被覆電極棒の金屬棒心に容易に電流を供給し以て該電極棒の使用
 を簡易ならしむると共に其の作用を確實ならしむる目的を以て銲接
 頭内に於て被覆電極棒が銲接物に向ひ進行する期間に該被覆の一部
 に金屬核心に達する條溝を鑿設して露出部を形成せしめ此露出部に
 電流を通すべくしたる電弧銲接用銲接頭、

製炭装置 (10年特許公告第131號、公告10-1-14、島根縣、
 島田謙吉) 燃料及勞費を節約すると共に収率率並に製炭能率を増進
 し且つ品質優良なる製炭を得んとする目的を以て精煉窯と炭化窯と
 を區別して該精煉窯と炭化窯とを循環熱氣管にて相互に連絡したる
 製炭装置。

ニッケル鍍より金屬ニッケルを製造する方法 (10年特許
 公告第155號、公告10-1-16、東京市、日本電氣工業株式會社) ニ
 ッケル鍍より簡單且經濟的に砒素其に他の不純物を含まざる優良な
 る金屬ニッケルを得んとする目的を以て砒素を含むニッケル鍍を硫酸
 を以て處理し Cu を多量に含有する硫酸鹽溶液を造り之を電解して
 陰極上に電氣銅を捕集する工程と残りのニッケル鐵砒素及少量の
 Cu を含有する硫酸鹽溶液に硫化水素を通し As 及 Cu を除去する
 工程と残りの Ni 及 Fe の硫酸鹽溶液に石炭を加へて空氣を吹込み
 つゝ加熱し Fe を水酸化鐵として沈澱除去する工程を隔膜を有する
 電解槽の陰極室に前工程にて得たる硫酸ニッケル溶液を入れて電解
 する工程との結合より成るニッケル鍍より金屬ニッケルを製造する
 方法。

試錐刀製造法 (10年特許公告第177號、公告10-1-18、東京
 市、鹽田岩治) 粉末ダイヤモンドを主材として塊狀ダイヤモンドよ
 りも價額の遙に低廉にして強靱性に富み且錐冠に對する植込みの頗
 る簡易なる試錐刀を得んとする目的を以てダイヤモンド Ni, Co 及
 Fe の各細粉を完全に混和せしめ之を高壓の下に壓搾して適宜の固
 形狀體に形成したる後高熱によりて急激に熔融固結せしむることを
 特徴とする試錐刀製造法。

**砒化及硫化ニッケル鍍或は其れより造られたる砒鍍の風
 燒法** (10年特許公告第220號、公告10-1-21、東京市、小室靜夫)
 風燒不可能と考へらるゝ該鍍石及砒鍍の風燒を可能とし鼓風により
 發生したる亞砒酸を迅速に焙燒圈外に排出し砒酸及砒酸物の生成を
 防ぎ且つ含有砒素分を亞砒酸及硫化砒素の形に於て揮發々散せしめ
 脱砒を一層良好ならしむる目的を以て砒化及砒硫化ニッケル鍍或は
 是より造りしニッケル砒鍍を風燒するに當り砒硫分餘り少なからざ
 る鍍石及鐵分非常に多からざる貧砒鍍は水分を 12~18% となし後
 處理に加ふ可き熔劑の一部或は全部を加へ含砒硫分 8~20% に調合
 し富砒鍍には後處理に加ふ可き熔劑及水を加へ調合物の水分 15~20
 % 含砒硫分 8~18% となし風燒し脱鐵或は脱銅砒鍍は粗碎したる
 後豫備焙燒し更に粉碎したる後珪酸質熔劑等を混合し水分 6~12%
 となし行ふ風燒法。

硫黃製煉装置 (10年特許公告第221號、公告10-1-21、東京市、
 村本富徳) 硫黃礦石を分割收容し各別に硫黃分の熔融析出を迅速な
 らしめ且つ不純物の混入を避け作業を容易ならしむる目的を以て蒸
 汽管を通して常に所定の溫度を保持せしめたる加熱罐内に漏斗狀に
 形成し中央に導筒を縦貫し兩側に轉子を軸着せる數多の集取函を加
 熱罐の内側壁に數段數列に設けたる軌道に沿ひて可動自在に収納せ
 しめ各集取函の上部に各別の金網函を置き硫黃礦石を少量宛に分割
 載置し熔融析出されたる液狀硫黃を漏斗内に滴下し數段に設け且つ

上下一貫せる漏斗の導筒を通して下底の溝道に流下集中すべくせる
 硫黃製煉装置。

鐵亞鉛鍍金法 (10年特許公告第224號、公告10-1-21 大阪
 市菅原榮、外一名) 堅牢にして硬度に富み防銹力大なる滑澤美麗の亞
 鉛鍍金鐵線を容易に製出せんとする目的を以て鐵線を酸處理し廻轉
 金屬線刷子にて研磨する工程と炭酸カドミウム青化亞鉛、青化加里
 苛性曹達より成る電解液を以て中間電鍍する工程と廻轉刷子にて研
 磨する工程と醋酸亞鉛硫酸アルミニウム、セラチン、硫酸より成る電
 解液にて表面電鍍する工程と廻轉金屬線刷子、湯洗槽、乾燥室を通
 過せしむる工程との結合を特徴とする鐵線亞鉛鍍金法。

電氣爐の電極挿入孔の閉塞装置 (10年特許公告第234號、
 公告10-1-21、東京市、沖本希三、外一名) Al の酸化被膜が耐熱に
 して絶縁性なることを利用して高溫度用電氣爐の電極挿入孔の閉塞装
 置として耐久的にして其構造簡單に其動作は有効に之を行はしめんと
 する目的を以て水套を有する Al 製輪環の外側に嵌合金具を其接
 觸周面に於て氣密的に且自由に摺動し得べく組合せ其一方を電極素
 棒の支承金具となし他方を電氣爐に取付くるべくしたる構成を特
 徴とする電氣爐の電極挿入孔の閉塞装置。

附記、炭素棒はモーター其の他の動力により任意の機構を以て其
 縱軸方向に進退すべくし常に一定度の兩極間隙を保持すべく成し
 たる上記々載の閉塞装置。

團鑄製造方法 (10年特許公告第242號、公告10-1-21、東京
 市、日本鑛業株式會社) 粘着劑を使用する事なく而も熔融點以下の
 溫度に於て比較的低壓力により簡單に強固なる團鑄を製造せんとす
 る目的を以て粉鑄を加熱し其の軟化溫度附近に於て加壓し團鑄とな
 すことを特徴とする團鑄製造法。

硫酸アンモニウム製造法 (10年特許公告第317號、公告10
 -1-28、東京市、三池窒素工業株式會社) 亞硫酸瓦斯を硫酸に變ずる
 ことなくして容易に硫酸アムモニウムを製造せんとする目的を以て
 亞硫酸瓦斯及アンモニアを水蒸氣の存在の下にて酸素或は酸素を含
 む瓦斯と共に觸媒を用ひずして 100°C 以上 800°C に加熱し氣相に
 て反應せしむる事を特徴とする硫酸アンモニウムの製造法。

金屬芯入鉛鍍製造法 (10年特許公告第323號、公告10-1-28
 東京市、吉川浩) 強靱なる全層面を任意の厚さの鉛層にて被覆し鉛
 又は其の合金の耐酸性と芯材の強靱性との兩特徴とを具備せしむる
 目的を以て鐵鋼銅又は眞鍮等の如き金屬を素地とし其表面に Zn,
 Sn, Cu の如き媒體層を設け若くは設くることなく Pb を鍍着し更
 に Pb 又は Fb 合金と相重ねロールに掛け一體的に融着せしむるこ
 とを特徴とする金屬芯入鉛板製造法。

鐵鋼亞鉛類の防銹劑製造法 (10年特許公告第339號、公告
 10-1-28、東京市、廣橋政治) 安價にして且つ効果優秀なる防銹劑を
 容易に得んとする目的を以て、石灰石、生石灰等のカルシウムの含
 有物と金屬 Zn, 酸化 Zn, 炭酸 Zn 等の Zn 含有とを原料とし之を
 燐酸溶液中に溶解せしめたる後該溶液を蒸發濃縮し鐵鋼 Zn 類の防
 銹に適當なる Ca 及 Zn の燐酸二水素鹽の結晶を形成せしむる事を
 特徴とする鐵鋼亞鉛類の防銹劑製造法。

金屬壓出装置 (10年特許公告第344號、公告10-1-28 東京市
 ダブリュー・テイ・ヘンリース・テレグラフ・ワークス・コムパ
 ニー・リミテッド) 接合部より熔融金屬の漏洩を防止する目的を以
 て、動作状態に於て高度粘稠性即可塑性状態なる金屬を推進流通
 せしむべき室の一壁の全部或は一部を2個の相對的可動片にて構成
 し該可動片間の接合部に室中に突出する隆起線にて構成せる轉向裝

置を備へ此の轉向装置は室中へ壓入せらるる金屬の主要流を相對的
可動片間の接合部の内縁より外方へ轉向せしむることを特徴とする
金屬壓出装置。

結晶硫酸アムモニアの製造法 (10年特許公告第346號、公
告10-1-28、東京市、デ、ダイレクトイーファン、デ、スターツミ
ーネン、イリムブルグ) 撒布するに好都合なる粗大の結晶を成し且
つ粉碎し或は塊りを生ずる傾向なき肥料用硫酸アンモニアを製造せ
んとする目的を以て、アンモニアを以て硫酸を飽和せしむることに
依り、硫酸アムモニアを製造するものに於て飽和液に磷酸或は水又
は酸に可溶性の磷酸鹽を加ふることを特徴とする結晶硫酸アムモ
ニアの製造法。

アルミニウムの着色法 (10年特許公告第348號、公告10-1
-28、東京市、西澤勇志智) 斯くの如くして多大の電力などを費す事
なくして現色に足るべき厚き被膜を面上に作らしめんとする目的を
以て、アルミニウム又は其の合金面をMg化し適當なる酸化劑を以
て其の部分を酸化してアルミナの相當厚き被膜を固着せしめたる後
之にアリザリン赤の如き染料を作用せしめてアルミナとレーキを作
らしめて其の部分を着色する方法。

活字地金より亜鉛を除去する方法 (10年特許公告第371號
公告10-1-30、神奈川縣、青木信利) 活字地金か其の取扱上必然的
に混入する含有Znの爲に鑄造工程に於て湯の流れ悪く且結晶粒子
粗雑にして著しく脆性なる缺點を容易に除去し全然Znを含有せざ
る活字地金と同等若しくは其以上良性質のものたらしむる目的を以
て、少量(1%以下)のZnを混入せる活字地金(Pb 40~95% Sb
5~35% Sn 0~35% を含有するPb, Sb, Snの三元合金を主成分
とせるもの)を加熱熔融し之に硫化アンチモン硫化砒、硫化曹達
或は硫化加里等の如き比較的融解點高き硫化物類或はこれ等の何れ
かを含有せる金屬或は之等の何れかを混合せる鹽類を融合混和する
ことにより活字地金よりZnを除去する方法。

活性炭製造方法 (10年特許公告第374號、公告10-1-30、東京
市、三井礦山株式會社) 特に瓦斯吸着性強大なる活性炭を容易に且
つ經濟的に製造せんとする目的を以て、石炭、木炭、木材等の含炭素
物質を苛性曹達及びナトリウムゲンケートと共に300°C乃至800°Cの
高温度に燒成することを特徴とする活性炭の製造法。

自動硬度計 (10年特許公告第418號、公告10-2-1、東京市、
佐藤耕夫、明石和衛) 硬度試験を簡易迅速に遂行し得しむる目的を
以て、電動機に連設したる作動軸に楔の類を介して梳狀の制止輪を
緩嵌し其の口縁部に設けたる溝に制止片を鉤脱自在と爲し其の鉤脱
と電動機のクラッチの齧脱と關聯せしめクラッチの齧合によりて作
動軸を起動せしめ制止片の鉤合によりて作動軸を停轉せしめ該作動
軸及インデケーターを球の昇降装置に連結したる自動硬度計。

取瓶の湯出し装置 (10年特許公告第427號、公告10-12-4、
東京市、中島鋼管株式會社) 注き始め及注き終りの動作を敏活なら
しめ注き始めに於ては熔融金屬(以下單に湯と稱す)の點下を防止
し注き終りに於ては注出口附近に湯の殘留することを防止する目的
を以て、前端に注出口を有する口注き取瓶に於て其の脊部を徐々に
上下せしむべき主上下機構と該脊部を更に一定の小距離内に於て簡
易に迅速に上下せしめ得べき副上下機構とを設置したることを特徴
とする取瓶の湯出し装置。

熔鋼中に含む分離性瓦斯量を測定する装置 (10年特許公
告第433號、公告10-2-4、廣島市、海軍大臣) 精鍊作業中に於て
熔鋼中に含む分離性瓦斯量を具體的に知り以て爐中に於ける鋼の各

種反應を研究し或は鑄造の時機を知り且つ氣泡の存在に起因する砲
身其他兵器用鋼塊、彈塊又は諸鑄鋼品の廢品及之に因する危險を未
然に防止する目的を以て、試料たる熔鋼中に含有する瓦斯を殆ど完
全に放散し得る如く形狀及條件を備へしめたる熔鋼容器に熔鋼凝固
に際して放散する瓦斯を捕集し之を測定することを得べき装置を具
備せしめたることを特徴とする熔鋼中に含む分離性瓦斯量を測定す
る装置。

**金銀鑛石及ニッケル鑛石の浮游選鑛にタンニンを使用す
る浮游選鑛方法** (10年特許公告第454號、公告10-2-4、秋田市
岩谷東七郎) 金銀鑛石或はニッケル鑛石の浮游選鑛に於てタンニン
を使用し且つパルプを酸性とすることに依りて金銀或はニッケル鑛
物を其れ等以外の不純物より分離せしめ最も經濟的に金銀或はニッ
ケルの品位高き精鑛を收得せんとする目的を以て、金銀鑛石又ニッ
ケル鑛石の浮游選鑛に於てタンニンを使用する浮游選鑛方法。

抗張試験片延伸測定装置 (10年特許公告第457號、公告10
-2-4、東京市、竹中二郎外一名) 負荷破斷後の抗張試験片の中心軸
を水平面に於ても垂直面に於ても容易に一直線たらしめ且つ破斷面
を密着固定せしめたる標準狀況にて延伸距離を正確に且つ簡単に測
定し得き此種延伸測定装置を得んとする目的を以て、牽引負荷後
の試験片の兩端握みの部分を架し且つ破斷面を壓着固定し得るが如
きネジ16を備へたる一對のV型架臺9と破斷面に近き部分を支
へる2個の勾配面12, 13を持ち右ネジ及左ネジにて同時に其の高
さを加減し得る一對の可變V型架臺10が摺動臺2上にある且つ
延伸距離測定用の顯微鏡18を固定臺1上に備へたる抗張試験片の
延伸測定装置。(圖略)

畫鋸削成機 (10年特許公告第466號、公告10-2-6、吳市、阪
田久五郎) 畫鋸1個宛の片面を削成後次の畫鋸供給に支障なからし
め且つ畫鋸は片面削成後他の片面の削成に移さしめ其移動中途に畫
鋸の落下を防止すべく移動杆を勵磁せしめて兩面の削成を完達せし
めんとする畫鋸削成機を得んとする目的を以て、畫鋸收容兼配列
器に連設したる導管の下部に畫鋸1個宛の供給用送込盤を畫鋸供給
棒に設け其下部に畫鋸を導くべき凹部を前面に有せる上下移動杆を
棒に嵌設し該移動杆の下降による下端部と一致する位置に畫鋸を摺
むべき摺管を設け其先端左右に削刀を裝備して畫鋸面に接する様
なし該摺管の後端には四方爪を有せる爪鋸を固着せしめ之に係合杆を
係合すべからしめ該爪鋸の四方爪は摺管の先端四つ割と合致せしめ
且摺管には内空に移動杆を挿入し之が後端に電磁コイルを巻着し先
端に畫鋸を吸着する様なし更に移動杆は作動杆により前進移動をな
さしむべく設けて畫鋸を吸着したる儘摺管と對設したる他の摺管に
摺ましむる様兩摺管は對應せしめ其對設摺管位置にも削刀を左右に
設けてなる畫鋸削成機

金屬線撚合器 (10年特許公告第467號、公告10-2-6、松山市
山本準之輔) 撚度を任意に調節することを得せしめ且つ長き金屬線
を其中途に於て簡易に把子の握り部内に挿入することを得而も一旦
挿入したる後は濫りに金屬線の脱出することなからしむる目的を以
て、L狀をなす把子の尖頭部に金屬線を挾持する摺動板を摺動自在
に設け又前記把子の握り部は一側面に其一端より他端に貫通する間
隙を設けたる筒狀に構成し且該空隙より握り部の内部に貫通せる金
屬線が該空隙より濫りに脱出することなき様構成せる金屬線撚合器

自動車用泥除製造装置 (10年特許公告第502號、公告10-2
-8、大阪市、田中彌太郎) 連續的に所要の泥除狀に壓搾形成せしめ
たる帶狀鐵板を順次所定の寸法に截斷し多數齊一なる泥除を自動的

に製出せしむとする目的を以て、數多の轉子を通して連續的に漸次所要の泥除狀に壓搾形成せしめらるべくしたる帶狀鐵板の進路の途中に該鐵板を截斷すべき双物を設け此双物の司動軸を帶狀鐵板の先端が一定位置に達したる時其押動に依つて作動すべき齧合子を介し間歇的に運動する如くし且つ上記双物の支持棒を司動軸に榫支し双物の作動中双物を帶狀鐵板と共に移動し得る様なしたる自動車用泥除製造裝置。

アルミニウム及アルミニウムを含有する合金類の品質改善方法 (10年特許公告第512號、公告10-2-8、加奈陀國、トロント市、アルミニウムリミテッド) 組織緻密なるアルミニウム又は其の合金を得引て張力及振動に耐える性質其の他冶金上作業上の諸點に於て優良なる工業用製作材料を得る目的を以て Al, Al 合金又は Al を含有する合金の各成分の混熔を甚だ微細ならしめて組織を改善せしむる爲め原料金屬の熔融物に熔融物の爲めに分解せられざる弗化物又は復弗化物を炭酸アルカリと混合して加ふる Al 及 Al を含有する合金類の品質改善方法。

金屬製眞空筒の空氣漏洩箇所檢出法 (10年特許公告第514號、公告10-2-8、東京市、株式會社日立製作所) 此種容器に存する微細なる漏孔を短時間に簡単に確實に檢出せしめんとする目的を以て、内部に石油又は石油の如き毛細管浸透性の大なる液體を容れ外表面よりパナーを以て高熱を加へつゝ漏孔を檢出することを特徴とする金屬製眞空筒の空氣漏洩箇所檢出法。

黄金色鍍金法 (10年特許公告第524號、公告10-2-8、兵庫縣川邊郡、越智第三) 鍍着狀態緻密鞏固にして光澤に富む黄金色鍍金を鐵其の他の任意金屬面に容易に施し得べからしめんとする目的を以て、青化銅及其約半量の青化亞鉛を主成分とするアルカリ性電解液に清酒、味淋、麥酒、葡萄酒の一種又は數種を水溶性炭化物殊に葡萄糖の如きアルドースと共に添加混溶したるものを電解液とし 50-80°C の高温に於て銅及亞鉛を主成分とする合金を陽極として鐵其他の金屬面に電鍍することを特徴とする黄金色鍍金法。

電氣混汞採金裝置 (10年特許公告第530號、公告10-2-13、朝鮮、新名常次郎、外二名) 遊離金を徒らに流失せしむる事なく従つて従來の電氣混汞法によるよりも著しく能率大なる採金裝置を得んとする目的を以て鍍泥水の供給を受くべき漏斗の内面周壁に沿ひて數段に環狀水銀槽を設けて之に低壓直流電氣を通し漏斗の下部より清水を昇騰せしめて連續的に供給せらるる鍍泥水中より遊離金分其他の重金屬類を洩り分け之等を漏斗周壁に沿ひて前記水銀槽に沈降せしめ同時に上部より清水を雨下せしめて遊離金分中の浮遊せる微粒子をも絶えず沈降せしめ漏斗周壁の水銀槽に於て永化捕集すべくしたる電氣混汞採金裝置。

自記變位計 (10年特許公告第572號、公告10-2-15、東京市、加毛秀雄、外二名) 被測定體の廻轉による誤差を除き空間に於ける或る一點の變位を分解し X 方向の變位及 Y 方向の變位等を互に何等關係せらるることなく何れの變位が來るとも之を記録針に現きんとする目的を以て斷面直角三角形を爲せる三角錐の直角を挟む二面に折曲せる指針を接せしめて該指針の一端を記録針に至らしめ前記三角錐をユニバーサルジョイントを介して被測定材に取付く様爲したる自記變位計。

アルミニウム電解精製方法 (10年特許公告第573號、公告10-2-15、佛國、ラ、コンパニー、ド、プロヂユイ、シミック、エ、エレクトロメタルジク、アレ、フロジ、エ、カマルヂユ) 低温に於て作業し得従つて腐蝕作用を伴ふことなく水套を有せざる電解槽を

使用して良質の Al を得んとする目的を以て陽極を形成するアルミニウム合金層と融態電解質物層と陰極を形成する Al 層とを電解裝置内に重積して電解を行ふ Al 精製方法に於て弗化アルミニウムと弗化アルカリと鹽化アルカリ土類との混合物より成る電解質を使用し其弗化アルミニウム對弗化アルカリの比を氷晶石に於ける弗化アルミニウム對弗化曹達の比よりも大ならしむることを特徴とする Al 電解精製方法。

特許拔萃

特許番號	名 稱	特許權者	公告拔萃掲載本誌番號
108615	亞硫化銅の電子的結合體製造法	梯 道 雄	第20年6號
108696	Mg 或は其合金上に他金屬を鍍金する方法	金屬材料研究所長	第28年8號
108722	耐酸耐熱鑄鐵	堀 内 清	第20年7號
108732	耐熱眞空器	日本金屬工業株式會社	〃 9號
108772	硬質刃物製造法	海 軍 大 臣	〃 10號
108773	融着性合金の改良	金屬材料研究所長	〃 〃
108786	上炎熱硫黃融解製煉裝置	久保利之吉外二名	〃 〃
108787	硫黃鐵石選鐵法	同 上	〃 〃
108813	煉炭製造方法	植 田 重 季	〃 〃
108815	Al 面の模倣腐蝕法	西 澤 龍 二 郎	第20年8號
108842	金屬線條鍍金裝置	株式會社住友電線製造所	〃 10號
108858	原料を電熱的に還元する改良方法	ポール・ルイ・ジョセフ・ミゲル 外一名	〃 8號
108870	金屬材接合法	加藤興五郎外一名	第20年10號
108889	Ni, Al 及 Ti を含有する磁石鋼	三 島 德 七	〃 7號
108890	Ni, Al 及 Si を含有する磁石鋼	同 人	〃 〃
108895	板金の加熱矯め直し方法	フリッツ・ウンゲレル	〃 9號
108909	ヤスリ其他薄き鋼鐵製工具及化粧用爪ヤスリ等に適度の柔軟性と著しき弾力性を附與する方法	村 瀬 友 數	〃 10號
109076	鐵及其合金に耐熱防錆被覆を施す方法	金屬材料研究所長	
109164	遠心力鑄鐵管製造法	久保田 權四郎	第20年7號
108943	鋸屑を原料とする木炭製造法	宮 本 博	
109122	保護被層を有する鋼板製造方法	鈴 木 重 吉	第20年7號
109111	埋設被鉛ケーブルの腐蝕防止方法	福 馬 克 巳	〃 9年
109074	工 具	三 島 德 七	〃 〃
109098	合金の強度増大方法	芝 浦 製 作 所	〃 10號
109143	Al 鍍着方法	豐 田 岩 男	〃 〃
108941	炭素鐵合金の製法	ジャン・モークレ	第20年10號
108997	蛇紋質岩を母岩とせる Ni 鐵の浮游選鐵法	日本鑛業株式會社	〃 〃
109127	至硬金屬體の製造方法	三菱鑛業株式會社	〃 〃
109134	汽罐用合金鋼管	住友伸鋼管株式會社	〃 〃
109178	鐵及鐵合金材に Al を滲透せしむるに使用する合金	三菱重工業株式會社	〃 〃
109086	耐磨硬合金	金屬材料研究所長	〃 11號
109085	鐵及鐵合金の防錆並に裝飾處理方法	同 上	〃 〃